

令和7年度国内における米海兵隊との実動訓練（レゾリュート・ドラゴン25） における大矢野原演習場の使用について

1. 訓練の目的

陸上自衛隊及び米海兵隊等の部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する際の相互連携要領を実行動により演練し、日米の連携強化及び共同対処能力の向上を図るもの。

2. 訓練概要等

【訓練実施期間】

令和7年9月11日（木）～9月25日（木） ※本期間の前後に、それぞれ約1週間で展開・撤収を行います。

【訓練実施場所】

- ・北海道 : 陸上自衛隊北海道大演習場、陸上自衛隊北恵庭駐屯地、陸上自衛隊矢臼別演習場、
陸上自衛隊柏台演習場、陸上自衛隊丘珠駐屯地、航空自衛隊計根別着陸場
- ・東京都 : 海上自衛隊硫黄島航空基地
- ・大分県 : 陸上自衛隊日出生台演習場、陸上自衛隊十文字原演習場
- ・佐賀県 : 陸上自衛隊目達原駐屯地
- ・長崎県 : 海上自衛隊佐世保基地
- ・熊本県 : 陸上自衛隊健軍駐屯地、陸上自衛隊高遊原分屯地、
陸上自衛隊大矢野原演習場
- ・鹿児島県 : 陸上自衛隊佐多対空射場、海上自衛隊鹿屋航空基地、
陸上自衛隊奄美駐屯地、陸上自衛隊瀬戸内分屯地、
徳之島
- ・沖縄県 : 調整中



大矢野原演習場

3. 大矢野原演習場における訓練の概要

○大矢野原演習場においては、

⇒ 日米の共同調整所を開設した指揮機関訓練

⇒ 日米共同による対着上陸戦闘訓練、対艦戦闘訓練、共同戦闘射撃訓練、共同兵站訓練（補給品の空中投下等）、共同衛生訓練（患者後送等）

等を実施する計画です。

○期間は、令和7年9月11日（木）～25日（木）を計画しています。※ 本期間の前後に、それぞれ約1週間程度で展開・撤収を実施予定

○参加部隊は以下のとおりです。

自衛隊：陸上自衛隊 約1500名

（中部方面隊、88式地对艦誘導弾、近距離地对空誘導弾、中距離地对空誘導弾、中距離多目的誘導弾、01式軽対戦車誘導弾、120mm迫撃砲、81mm迫撃砲、V-22×2機程度、CH-47×1機程度、UH-60×2機程度、AH-64×2機程度、OH-1×1機程度、UH-1×4機程度等）

米 軍：米海兵隊 約150名

（第12海兵沿岸連隊、第3海兵兵站群、第3衛生大隊、MV-22×2機程度、AH-1Z×2機程度、UH-1Y×1機程度、CH-53×4機程度、C-130×1機程度等）

注：員数や参加部隊は現時点で計画中のものである。

訓練イメージ



対着上陸戦闘訓練



共同戦闘射撃訓練



共同兵站訓練（補給品の空中投下等）



共同衛生訓練

4. 訓練日程（大矢野原演習場における予定）

月	9																
日	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
曜	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水			
訓練予定	展開、装備品輸送、訓練準備							訓練開始	指揮所訓練及び実動訓練（共同戦闘射撃訓練、共同兵站訓練等）								
	航空機の飛行								航空機の飛行								
									射撃訓練		空中投下						

月	9												10				
日	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	
曜	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	月	木	金	
訓練予定	実動訓練（対着上陸戦闘訓練、対艦戦闘訓練、共同衛生訓練等）							訓練終了	撤収準備、装備品輸送、撤収（移動）※								
	航空機の飛行								航空機の飛行								

※ 移動の期間は8日間程度を見込んでいますが、準備が整えば、速やかに移動を開始する予定です。

<Q&A>

Q1 大矢野原演習場への展開・撤収の時期や方法は？

訓練準備のため、9月4日（木）頃から10日（水）までの間に、陸上自衛隊及び米海兵隊の人員及び装備品が、大矢野原演習場に順次展開する予定です。

陸上自衛隊は陸自車両で展開し、米海兵隊は米側が契約した業者の車両（バス、トレーラー等）で展開します。また、物資・人員の輸送のため、航空機が飛行する可能性があります。

9月25日（木）の訓練終了後、日米それぞれの隊員及び装備品は、10月3日（金）までの間に、演習場展開時と同様の移動手段で撤収する予定です。

なお、演習場への車両での展開・撤収の際は、交通ルールを順守するなど安全に配慮するよう、日米の訓練参加部隊（米契約業者含む）に周知徹底します。

Q2 射撃等で使用する主要な火器等は？

陸上自衛隊は、89式小銃、20式小銃、5,56mm機関銃、120mm迫撃砲、81mm迫撃砲等、

米側は、M27自動小銃、M240機関銃、カールグスタフ、60mm迫撃砲等です。

なお、実弾を使用した訓練は、訓練期間中に1日から2日間程度実施する予定です。

Q3 夜間及び休日に訓練は実施するのか？

訓練は夜間及び休日にも実施する予定ですが、訓練の実施に際しては、演習場の使用規則等を遵守し、皆様の生活に支障がないよう可能な限り配慮いたします。

Q4 航空機の飛行ルートは？

航空機による演習場への進入及び退出ルートについては、**周辺住民の皆様**に**十分配慮したルート**を使用するよう日米間で確認し、**基本的に北西側から進入及び退出する**ようにしています。しかしながら、共同兵站訓練において飛来予定のC-130（固定翼機）については、**東側**から進入しますが、航空飛行における安全上の観点から、南側にて旋回しなければならない可能性があります。

特に米航空機の飛行ルートについては、十分に注意するよう調整しています。

Q5 訓練期間中の演習場外への外出は？

本訓練に参加する米軍人は、演習場内宿泊を基本としますが、訓練の支援等を行う一部の軍属や高官等は部外のホテルに宿泊する予定です。

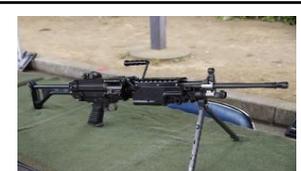
演習場内に宿泊する米軍人は、食事、入浴を含めて活動は演習場内で行う予定ですが、**必要に応じ、生活に必要な物資を購入等するためにレンタカー等で外出する可能性はあります。**

また、外出に対しては、**米軍に対し、綱紀粛正の徹底**をお願いしています。

訓練における安全性の確保には万全を期してまいります。
皆様の、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

大矢野原演習場において使用する主な装備品（自衛隊）

【資料1】

装備品	写真	装備品	写真	装備品	写真
88式地对艦誘導弾		81mm迫撃砲		UH-1	
近距離地对空誘導弾		V-22		89式小銃	
中距離地对空誘導弾		CH-47		20式小銃	
中距離多目的誘導弾		UH-60		5, 56mm 機関銃	
O1式軽対戦車誘導弾		AH-64			
120mm迫撃砲		OH-1			

大矢野原演習場において使用する主な装備品（米軍）

装備品	写真	装備品	写真
MV-22		M27自動小銃	
AH-1Z		M240機関銃	
UH-1Y		カールグスタフ	
CH-53		60mm迫撃砲	
C-130			